

## 令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	17	学校名	静岡県立裾野高等学校	校長名	多嶋 洋一
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	社会に適應できる基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実する。	裾野高校に入学してよかったと答える生徒100%【全員】	よかったと答えた生徒は85% (昨年89%)	B	成果目標の中で一番重要な項目である。生徒の思いを大切にしたい。満足度を上げていきたい。
		服装が良いと答える生徒90%以上【生徒課他】	良いと答えた生徒は95% (昨年90%)	A	チケット指導により違反者の指導はできたが、個人的に偏りが見られた。今後は本校の実情を踏まえて校則見直しを行っていく。
		挨拶ができると答える生徒90%以上【生徒課他】	できると答えた生徒は87% (昨年88%)	B	教員側から率先して挨拶を働きかけ、自然に挨拶が交わる雰囲気をつくっていききたい。
		出席率98.0%以上 遅刻・早退件数 前年度比30%減 【教務・研修課他】	出席率98.1% (昨年98.3%) 遅刻・早退の前年29%減・26%減 (昨年42%減・32%増)	A	概ね目標を達成できたが、コロナの影響が大きく、分析が難しい。今後も遅刻・早退の多い生徒へ早めの対応をしていきたい。
		基本的な生活習慣の指導が適切に行われていると答える生徒85%以上【生徒課他】	適切に行っていると答えた生徒は87% (昨年86%)	A	学校生活全体を通して、基本的な生活習慣の重要性を伝えていきたい。
		委員会活動が活発であると答える生徒70%以上【生徒課他】	委員会活動が活発であると答える生徒は56% (昨年68%)	C	活発に活動している一部の委員会もあるが、委員会によって活動に偏りがある。生徒会の仕事にやりがいを持っている役員は100%である。
イ	望ましい社会性、規範意識を育成し、生徒の自立性・社会性を伸ばし、命を尊び健康で安全な生活を送らせる。	全校集会、学年集会で毎回、生徒に問題行動予防のための講話を実施。問題行動の発生件数前年度比20%減【生徒課他】	集会時の講話は随時実施。 問題行動の発生件数前年度比43%増 【23件→33件】 (昨年4.5%増)	C	指導件数のうちSNSに関する内容は11件22人と多かった。今年度はネット依存トラブル対策プログラムを実施したが、来年度も継続する。
		PTA・地域との連携による交通安全指導を実施し、交通事故件数を前年度比20%減 外部講師による交通安全教室を年2回実施	交通事故件数3件(昨年1件) 前年比300%増(昨年87.5%減) 交通安全教室年1回実施 (昨年2回)	B	外部講師による交通安全教室は1回実施した。 交通事故が起きないように、交通安全教室の開催、委員会からの呼びかけ等を積極的に行っていきたい。

		<p>いじめ防止・スマホの適正使用に関する研修会（生徒・教員）2回以上実施</p> <p>教育相談委員会の実施を年間6回以上</p> <p>健康・安全に関する指導が適切に行われていると答える生徒90%以上</p> <p>【生徒課、保健・相談課】</p>	<p>いじめ防止・スマホに関する研修会は、生徒、教員ともに2回実施。</p> <p>教育相談委員会4回実施（昨年2回）</p> <p>指導を行っている」と答えた生徒は86%（昨年90%）</p>		<p>いじめ防止については、スクールロイヤーによる研修会を実施した。</p> <p>教育相談委員会とケース会議を実施とスクールカウンセラーの活用によって、気になる生徒の情報共有を行い、個々の生徒への対応や指導をすることができた。</p>
		<p>避難訓練を年3回実施。</p> <p>避難訓練は大切と答える生徒75%以上</p> <p>地域防災訓練参加率75%以上</p> <p>【総務・図書課】</p>	<p>年3回実施予定。（昨年3回）</p> <p>大切と答える生徒は96%</p> <p>参加率10.2%（昨年4%）</p>	<p>B</p>	<p>2回目の避難訓練は、雨天対応で実施したが、避難経路の確認ができた。3回目は3学期中に抜き打ちで行う予定である。地区防災訓練に積極的に参加するよう、積極的に声掛けをしていきたい。</p>
		<p>保健便りを年10回は発行</p> <p>疾病治療率60%以上</p> <p>特に、歯科受診率30%以上</p> <p>朝食摂取率95%以上</p> <p>【保健・相談課】</p>	<p>保健便り年10回発行（昨年10回）</p> <p>疾病治療率54.8%（昨年58.43%）</p> <p>歯科受診率23.8%（昨年20%）</p> <p>朝食摂取率85.0%（昨年87.4%）</p>	<p>B</p>	<p>保健便りは、その時々々に注意すべきことについて注意啓発することができた。</p> <p>歯科受診率は、個別に指導することで受診率を上げることができた。</p> <p>受診率や朝食摂取率を向上させるために、継続的な指導をするとともに、保護者にも状況を把握していただき、協力をお願いしたい。</p>
		<p>教職員は生徒の話を親身になって聞いてくれると答える生徒90%以上</p> <p>生徒面談年3回以上</p> <p>生活アンケートを年3回実施</p> <p>定例いじめ対策委員会を年3回開催</p> <p>【保健・相談課他】</p>	<p>親身になって聞いてくれると答えた生徒は86%（昨年89%）</p> <p>生徒面談年3回（昨年3回）</p> <p>生活アンケート年3回実施（昨年3回）</p> <p>いじめ対策委員会年3回実施（昨年3回）</p>	<p>B</p>	<p>生徒面談と生活アンケート、いじめ対策委員会は予定通り実施できた。</p> <p>生徒の心情に寄り添えるよう、対話を大切にしていきたい。</p>
		<p>清掃により校内美化が保たれていると答える生徒80%以上</p> <p>【保健・相談課】</p>	<p>保たれていると答えた生徒は70%（昨年81%）</p>	<p>B</p>	<p>ごみの持ち帰りと分別についての意識は少しずつ向上している。</p>

ウ	総合学科の特色を生かして、地域人材の活用を図り、基礎基本の定着や課題解決能力を図る。	新教育課程・学習評価及び ICT 活用に関する研修を年3回以上実施 【教育課程検討委員会、教務・研修課】	ICT 活用に関する研修を年5回実施した。 (昨年3回)	A	次年度からの一人一台端末の導入に向けた校内研修は計画的に実施できた。また、グループ毎に進めることで、日常的に研修を行う様子が見られた。
		家庭学習をよくやっていると答える生徒30%以上【教務・研修課】 基礎力診断テストにより基礎学力の定着度が把握できたと答える生徒80%以上 授業で力がついたという生徒80%以上 【進路課】	よくやっていると答えた生徒32%(昨年38%) 基礎力診断テストによる定着が把握できたと答えた生徒73% (昨年78%) 授業で力がついたと答えた生徒80%(昨年87%)	B	毎日の授業課題により、一定数の生徒は家庭学習に意欲的に取り組んでいる。  基礎力診断テストにより自己の学力定着度の把握や授業で力がついたと実感する生徒の割合は目標に達していない。 就職試験で学力試験を課す企業が増えており、基礎学力の定着が一層必要になっている。
		授業がわかると答える生徒85%以上 【教務・研修課】	わかりやすいと答えた生徒は80%(昨年86%)	B	生徒の理解度を検証し、生徒がわかりやすいと実感できる授業の改善を図っていきたい。
		家庭学習時間調査を定期的に実施し、平日が40分以上、休日が60分以上と答える生徒が80%以上 【教務・研修課】	平均平日18分、休日20分であるが、目標の時間以上学習している生徒は14%に留まっている。(昨年:平均平日26分、休日33分)	C	家庭学習時間が増加するように各教科と連携したい。 一人一台端末の課題等への研究を行う。
		朝読書はよい効果があると答える生徒70%以上 生徒の借りる本一人3冊以上【総務・図書課他】	よいと答えた生徒は64%(昨年70%) 一人3.9冊 (昨年1.8冊)	B	朝読書の意義と本校にとっての必要性を再確認する必要がある。 図書委員会の活動が活発になり、図書館の利用状況が改善し、貸出冊数が大きく伸びた。
	系列や選択科目が進路に応じていると答える生徒90%以上 オープンスクールにおける来校者の満足度97%以上 地域人材の活用100回以上 地域関連事業を年30件以上 【総合学科他】	進路に応じていると答えた生徒は92% (昨年91%) オープンスクール満足度96.5%(昨年97.6%) 地域人材の活用166回(昨年116回) 地域関連事業11件(昨年14件)	A	系列や選択科目は、生徒が満足できる選択ができた。  オープンスクールの来校者も概ね満足できた様子である。  人材活用(福祉介護系列30回、保育健康系列68回、ビジネス系列60回、キャリア関連8回) 地域関連事業(ビジネス系1件、ボランティア部3件、野球部2件、生徒会1件、その他4件)	

					地域関連事業はコロナ禍で実施できない事業もあったが、感染防止対策を取ったうえで、地域の方に来校していただく人材活用事業を増やした。 今後も学校経営予算を有効に使い、地域の人材活用を積極的に図っていく。
エ	キャリア教育を推進し、地域や産業社会の変化に対応しながら自己実現のできる人材育成を図る。	3年生就職者の第一志望合格率90%以上 3年生進学者の第一志望合格率90%以上 3月末までの進路決定100% 進路決定に向けた指導が充実していると答えている生徒90%以上【進路課他】	就職者 90.4% (昨年 88%) 進学者 92.3% (昨年 88%) 進路決定率 % (昨年 97.2%) 充実していると答えている生徒 83% (昨年 87%)	B	就職・進学とも目標を達成することができた。 次年度も早期指導・個別指導を徹底し、卒業までに進路決定できるようにしていきたい。
		「産業社会と人間」・総合的な学習の時間が自己のためになったと答える生徒80%以上【総合学科他】	自己のためになったと答える生徒は 76% (昨年 79%)	B	3年間で系列的・体系的なキャリア教育を実施している。約6割の生徒はキャリア教育に意欲的に取り組んだと答えている。
		インターンシップ参加者2年生(就職希望者)100% オープンキャンパス参加者(進学者)100% 志望学部・志望学科・志望職種が明確になったと答える2年生90%以上 自己の進路目標に即して系列を選ぶことができたと答える1年生が90%以上【進路課他】	インターンシップ参加率 79% (昨年 4.2%) オープンキャンパス参加率 53% (昨年 33%) 進路が明確になったと答えた2年生 66% (昨年 87%)。 自己の進路目標に即して系列を選ぶことができた 1年生 90% (昨年 89%)	B	全員が参加することができなかったが、インターンシップとオープンキャンパスを経験できたことは有意義であった。
		平日、休業中の補習参加者 各学年 60人以上【進路課他】	1年 0名 (昨年 0名) 2年 5名 (昨年 23名) 3年 19名 (昨年 30名)	C	全体的に進学補習への参加率が低い。 進学補習の重要性について生徒に伝え、受講を促し、学力向上を目指したい。

様式第3号

オ	学校行事、特別活動、部活動を充実し、生徒に自信と誇りを持たせ、学校の活性化を図る。	生徒会活動は行事の成功につながっていると答える生徒 90%以上【生徒課】	成功につながっていると答えた生徒は 81% (昨年 89%)	B	活動に関心のない生徒への対策が必要である。生徒会から出る自発的な意見を大切にし、活発化につなげたい。
		学校行事は充実していると答える生徒 90%以上	充実していると答えた生徒は 90% (昨年 92%)		今年度は、球技大会を除くほとんどの行事を実施できた。
		HR活動を通してクラスのまとまりがあると答える生徒 90%以上【生徒課他】	まとまりがあると答えた生徒は 86% (昨年 90%)	B	クラスのまとまりについては、次年度も五龍祭を中心に、生徒が活躍できる環境を心掛け、満足度を上げていきたい。
カ	保護者や地域住民等への広報活動を充実し、地域貢献活動を活発に行う。	所属している部活動に満足していると答える生徒 85%以上【生徒課】	満足していると答えた生徒は 79% (昨年 84%)	B	生徒数減少を踏まえ、部活動の統廃合を進めながら、さらなる活発化を図っていきたい。
		HPを活用して毎週1回以上の情報を発信し、月のアクセス数を 2500 以上とする	HP 情報発信＝週1回程度 (昨年週1回) 月のアクセス数 計測不能 (昨年 2492 件) 様子を知ることができたと答えた保護者は 77% (昨年 78%)	C	特色ある授業や行事の後にHPの更新を心掛けた。HPの刷新については、生徒の意見も取り入れながら準備をしている。次年度は、より多くの情報発信ができるように校内体制を機能させたい。
		HPや Facebook で学校の様子を知ることができると答える保護者 80%以上	学年広報誌(年) 1年 2回 (昨年2回) 2年 1回 (昨年1回) 3年 2回 (昨年1回) 報道提供9件 (昨年9件)		学年広報誌については、学年によってばらつきがある。学校と家庭をつなぐ手段の一つとして定着させたい。
		各学年部は学期に3回以上保護者に対して学校の様子がわかる広報紙を発行	報道提供件数 50 件以上【情報委員会他】		報道提供件数は、コロナ禍で広報できる内容の授業や行事等が減ったことにより伸びなかったが、新聞等への掲載数は例年並みである。
地域向け学校広報チラシを月に1回発行【総合学科】	月1回発行 (昨年月1回)	A	月1回のペースで定期的に発行することができた。		
	PTA 総会出席率 30%以上	総会出席率 20.9% (昨年 28.3%)	B	PTA 総会は土曜日開催としたが、参加者を増やすことができなかった。	
	PTA 活動の趣旨を十分理解して参加していると答える保護者 60%以上【総務課】	理解して参加していると答えた保護者は 66% (昨年 60%)		PTA 活動の理解度については、広報も含め、PTAと連携しながら向上させていきたい。	

様式第3号

		清掃活動以外の一部活動ーボランティア活動の実施 100% 【生徒課】	実施率-% (昨年-%)	—	今年度もコロナ禍のため活動を自粛した。
キ	職員及び生徒の国際化を推進し、グローバル人材を育成する。	修学旅行に向けての事前研修、現地での取組計画、事後研修の立案 地球的規模の課題について興味を持ったと答える生徒 60% 英語検定合格者数 3級 15人以上 準2級 10人以上 漢字検定合格者数 2級 5人以上、準2級 10人以上 数学検定合格者数 準2級 5人以上 商業検定合格者数 全商検定(簿記・情報・電卓) 1級 20人以上【1・2年部、総合学科、教科】	海外修学旅行から国内(広島・神戸・大阪)に変更になった。 地球的規模の課題について興味を持ったと答えた生徒 48%(昨年 56%) 英検: 3級 9人(昨年 12人)、準2級 3人(昨年 5人)、2級 0人(昨年 0人) 漢検: 準2級 7人(昨年 2人)、2級 2人(昨年 1人) 数検: 準2級 1人(昨年 3人) 商業検定 全商 1級 32人(昨年 37人)	C	2年の総合的な学習の時間(キャリアチャレンジ)の中で「台湾学」を行う予定だったが、行先変更により「山陽学」を実施した。急な変更であったが充実した研修ができた。また、その成果を生徒に発表させる機会を設けることができた。  検定合格者の人数は目標まで届かなかった。 検定受験については、裾野チャレンジとともに、積極的に周知していきたい。
ク	教職員は研修に積極的に参加し、組織的な取組により学校力の向上に貢献する。	授業参観後の合評会や生徒による授業評価アンケートを非常勤講師まで含んで 100%実施 【教務・研修課】	生徒授業評価アンケート 92%実施 (昨年 92%)	B	非常勤講師を除くと 100%。 結果を授業に反映させるようにしていきたい。
		「主体的・対話的で深い学び」及び「ユニバーサルデザイン」を意識してやっている教員の割合が 100%【教務・研修課】	意識してやっている教員 97% (昨年 97%)	A	授業改善につながる研修を引き続き実施し、満足度・導入率が更に上昇するようにしたい。
		必要な生徒に対して個別の支援計画を作成 UD教育を取り入れる教員 100% 【保健・相談課】	個別支援が必要な生徒 2名に、支援計画を作成 UD教育を取り入れる教員 97% (昨年 97%)	A	個別指導・支援計画は、中学校からの引き継ぎを含め、必要な生徒に作成している。 授業では、本時の目標を明確に指示したり、UDフォントを活用したりと、積極的にUD教育を実施している。

様式第3号

		<p>教務・研修課、生徒課の連携により、採用1～3年目の教員のための生徒指導に関する研修を導入 【教務・研修課、生徒課】</p>	<p>若手教職員を中心としたグループ研修を実施した。</p>	<p>A</p>	<p>6年次研修の教職員を中心としたグループ研修において、若手教員の交流及び情報共有の場を設定した。</p>
		<p>教職員が連携し、カリキュラム・マネジメントを意識した教育活動を実践し、教育効果が上がったと実感する教員80%以上 【管理職】</p>	<p>カリキュラム・マネジメントを意識した教育活動を実践し、教育効果が上がったと実感した教員74% (昨年61%)</p>	<p>B</p>	<p>ICT活用の研修は異なる教科のメンバーとしたことで、教科横断的な取組について考える機会が増えたと思われる。今後も日ごろの教育活動の中で意識を高めていきたい。</p>
ケ	<p>教職員は業務の効率化を図り、ワークライフバランスに努める。また、次世代育成支援を意識した行動に取り組む。</p>	<p>定例会議の実施及び計画的・組織的な取組を実施する。 【全員】</p>	<p>キャリア教育の時間の打合せを中心に、計画的・組織的な会議が概ね実施できた。</p>	<p>A</p>	<p>総合学科の特徴として、教員の空き時間を、共通に設定することが難しいが、短時間でも会議を開くことで、職員間の共通認識を図ることができた。</p>
		<p>月曜日の定時退勤励行（午後6時完全退勤）  午後8時退勤励行（午後9時完全退勤）  夏季休暇完全取得 一人当たり時間外勤務月平均30時間以下 一人当たりの年休取得日数平均13日以上 【管理職、事務部】</p>	<p>定時退勤日における教員の実施状況は向上した。 午後9時完全退勤はほぼ実施できた。 夏季休暇取得率100% (昨年96.9%) 時間外勤務の月平均23.4時間 (昨年28.1時間) 一人当たりの年休取得日数13日(昨年12日)</p>	<p>A</p>	<p>今後も教員の働き方に対する意識向上や業務削減を図ることで、教員の勤務時間短縮に努める。</p>

様式第3号

<p>コ</p>	<p>安心安全な教育環境の整備、充実に努める。</p>	<p>体罰、セクハラ等 職務事故0件 施設設備に起因する 事故 件数0件 監査、検査での指摘、 文書指導等の件数0 件 学校の施設・設備が 整備されていると答 えた生徒 85%以上 警報時の対応につい て承知していると答 えている生徒や保護 者 85%以上 【管理職、事務、保 健・相談課】</p>	<p>体罰等0件（昨 年0件） 施設設備に起因 する事故0件 （昨年0件） 監査での指摘、 文書指導等0件 （昨年0件） 整備されている と答えた生徒は 74% （昨年 82%） 承知していると 答えた生徒 86%（昨年90%）、 保護者 83% （昨年 84%）</p>	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>不祥事根絶計画を確実に実施し、管理職から定期的に呼びかけることで、体罰・セクハラ等の不祥事を未然に防いでいきたい。</p> <p>施設設備については、日ごろの点検や教員と事務員の連携を通じて、確実な整備に努める。</p> <p>今後もメールやHPを通じて、警報時の対応を生徒や保護者への周知を徹底する。</p>
----------	-----------------------------	---	--	--